

## 「恵那どり」を使った給食をいただきます ～「地産地消」地元産食材を給食に～

(株)トーノーデリカ様から寄付していただいた、「恵那どり」を使った給食を、副食提供による学校給食を日本で初めて実施した川上地区で、子どもたちと市長と一緒にいただきます。

■日時 令和8年7月7日（火曜日） 12時25分から12時50分

■場所 中津川市立川上小学校（中津川市川上409-7）

■参加者 ・中津川市長、中津川市副市長、中津川市教育長 ほか  
・川上小学校 全校児童 19人

<児童数一覧>

学年		1	2	3	4	5	6	合計
学級数		1		1		1		3
児童数	男	0	5	0	2	3	1	11
	女	1	0	1	0	2	4	8
	計	1	5	1	2	5	5	19

■内容 川上小学校の全校児童と一緒に、「恵那どり」を使った給食を試食します。

### ■学校給食について

- ・学校給食自体は、1889年（明治22年）に山形県鶴岡町（現在の鶴岡市）の私立忠愛小学校において、貧困対策として、十分な食事ができず栄養が摂れない子どもたちのために、おにぎりや焼き魚、漬物といった食事が提供されたのが始まりとされています。
- ・1921年（大正10年）、川上村（現在の川上小学校）に住んでいた原徹一氏は、川上村の予算で、川上尋常高等小学校（現在の川上小学校）の児童全員約300人に、「膳立て（＝みそ汁）」の副食提供による学校給食を日本で初めて実施しました。
- ・原徹一氏（1892年～1945年）は、中津川市出身の栄養学者で、学校給食の普及や栄養学において先駆的な役割を果たし、厚生省栄養研究所などの技師を務めました。

### ■その他

- ・恵那どりをを使った献立名は「恵那どりの夏野菜ソース」です。
- ・恵那どりは、中津川市のきれいな空気と広い環境で育ち、飼料に抗生物質・抗菌剤を使用せず育てた若鶏です。

- ・恵那どりの寄付は、令和4年度から毎年いただいています。令和7年度には2回いただき、今回で6回目です。
- ・岐阜県では、地元産食材を給食に活用する「地産地消」の取組を積極的に推進しています。

## ■参考

若者未来デザイン会議 ※別紙岐阜県報道発表資料参照

- ◆ 日時 令和8年7月7日（火曜日） 13時00分から14時00分
- ◆ 場所 中津川市立川上小学校（中津川市川上409-7）
- ◆ 参加児童 川上小学校 全校児童 19人
- ◆ 内容
  - ・岐阜県は、未来を担う子どもや若者と知事が、県政や社会課題などについて意見交換をする場として、「若者未来デザイン会議」を開催しています。
- ◆ 主催 岐阜県

## お問い合わせ先

---

教育委員会事務局 学校教育課 担当者：牧野 達弥

電話：0573-66-1111（内線4238）

市長公室 秘書広報課 担当者：田口 幸子

電話：0573-66-1111（内線314）

